

平成28年度 第1回 図書館協議会報告

- 1 日時：平成28年7月27日（水）午前10時～12時
- 2 場所：おおづ図書館 1階 集会室
- 3 出席者：委員 松岡征一郎、江口竜一、太田昭子、岩村優子、高本浩、
古澤理恵、高本梢、吉田ひとみ、阪梨善行（9名）
齊藤教育長、市原教育部長、後藤生涯学習課長
事務局 大隈、宮野

4 議題

(1) 熊本地震について

別紙資料により説明（事務局）

質疑応答

意見

熊本地震後の対応は大変だったと思いますが、わりと早く開館できたのではと思います。

質疑

本棚自体は倒れなかったのですか？

答弁

本棚は倒れませんでした。

児童書の棚は、二重の床になっていて下の床に打ち込んであります。その間にコンクリートを流してあるのですが、そのボルトが緩んでいると考えられるので、棚が揺れる状態になっています。修理は、そこを扱うのではなく表面上L字の金具で留めることになります。

質疑

菊陽町図書館の被害はどうでしたか。

答弁

ホールの方の被害はひどかったようですが、図書館の方は本棚の破損もなく被害は少なかったと聞いています。合志のヴィーブルの図書館がひどかったようです。スプリンクラーの配管が壊れてしまい、水浸しになり4千点以上が水濡れになったと聞いています。

質疑

電動書架はいくらくらいかかりますか。

答弁

書庫だけで140万弱、開架の棚は10万程度、合わせて150万程度です。

(2) おおづ図書館の現状について

別紙資料により説明（事務局）

質疑応答

意見

蔵書のところでDVDが5千点とありますけど、図書館友の会が上映会をする中で、上映権が付いているものが非常に少ないです。それに、状態が悪いものが多いです。お客さまから「時代劇が見たい」と言われることがありますので、「上映はできないけれどこういったDVDがある」とお伝えしたくて、自分で借りて20本ほど見てみました。そのほとんどが状態が悪く、きれいに見られるものがないくらいでした。上映会のことも真剣に考えてほしいです。なんとかご検討をお願いします。

答弁

たしかに上映権が付いているものは少ないですし、上映を行っているときに映像の乱れがあると良くないと思います。こちらでは、DVDの返却の際に映像に乱れがなかったか確認していますが、そのとき何も言われなければそのままになっています。先日友の会さんともお話しましたが、上映会で使われるものに関しては、一度こちらでも観て確認し、さらに友の会さんにも一度確認していただくという形にしようと思います。

上映権付きDVDに関しては、友の会さんとまた相談して、こういったものがあるというのであれば検討していきたいと思います。

意見

ボランティアの活動としてDVDの研磨をしたことがあります。研磨することで映像の乱れが良くなっているのか、再度確認しなければならないと思います。研磨してももう良くなれないのか、研磨のやり方が良くないのかと思います。

意見

火曜日のボランティアでも研磨をしたことがあります。研磨をしても良くならないものは廃棄していかなければならないのではと思います。

質疑

上映権が付いている DVD の相互貸借はできないのですか。

答弁

近隣の図書館に確認しましたが、DVD は基本的に相互貸借ができないところがほとんどです。個人的には借りられるというところもあるので、上映権付きのものを借りることはできますが、図書館として相互貸借で借りることはできないということでした。DVD は壊れやすくとても高価なので、相互貸借の対象から外しているところが多いです。

質疑

広域連携で借りることはできないのですか？

答弁

熊本市との広域連携はまだ話が進んでいません。あとで報告します。

答弁

熊本県立図書館も貸し出ししていません。そもそも、上映できるような映画などを所蔵していないというところもありました。

意見

DVD は貸し出しをせずに館内だけで見てください、というところもあるみたいですね。DVD はデリケートだし高価であるため、なかなか難しいです。上映権の問題もあります。しかし、図書館は本だけではなく総合的に、という時代ですので、なんとかできれば、と思います。

意見

6月のブックシェアデーでは多くの方がいらっしゃいました。からいもなどの提供もありました。本だけでなくそういったプラスアルファがあると人が集まります。一時期は溢れるくらいの方がいました。本もたくさん集まりました。新しい試みだったと思います。

意見

私のところにも、地震のあと処分したい本をどうしたらいいかという相談がたくさんありました。熊日新聞に事前に広告を出してもらったこともあり、たくさんの方が集まりました。

私たちは、これは残るだろう、と思っていた本も、あるお母さんが「こういった本を子どもに読ませたい」と言って3箱くらい持って帰られました。とてもびっくりしましたが、大変喜ばれていました。大事な本を捨てられない人が多いので、みなさん喜ばれて大変でしたが良かったです。

意見

災害を逆手にとった、図書館の新しい取り組みだったと思います。家族でたくさん来られていたのも良かったと思います。

質疑

団体貸出が非常に伸びていますが、何か要因はありますか？

答弁

昨年度、護川小学校の校長先生が、以前県立図書館に勤務されていた経験もあり、図書館活動に非常に熱心に取り組まれていました。各クラス、2ヵ月ごとに担任の先生が40～50冊学級文庫を借りに来られていました。また「校長室を図書館に」ということで、校長室用にも図書館から多くの本を借りられていました。それ以外にも、昨年度は図書館を活用した活動に多く取り組んでいただいたこともあり、貸出冊数がかなり伸びています。

意見

今、学校との連携の話になっておりますが、大津支援学校について、学校評議員になっているため、先日校長先生から話を伺いました。支援学校は以前、図書室がありませんでした。今の校長先生が、空き部屋に本を置かれました。先生方は、支援学校の子どもたちは文字を読んだりすることが難しいため本にはあまり興味がないのではという先入観があったようですが、実際に本が置かれたら子どもたちは大変喜んでいるということです。今後、図書館とも連携していけたら良いのではと思います。移動図書館も巡回していますが、大変喜ばれていると聞いています。高校は大変立派な図書室がありますが、支援学校はそうではありません。まわりからサポートができればと思います。

意見

今年は館長が替わりました。司書の方々の動きも非常に活気がありやる気が感じられます。ものは変わらなくても人が変わると、図書館も変わるのではと思います。大事なことだと思います。

先日、ロビーの夏休み学習相談ボランティアの席にいましたが、まったく出入りがないときがなく、ずっと人の出入りがありました。今日は9時頃に来ましたが、子どもたちがすでに来ていて、学習スペースで勉強をしていました。やはり、自主的に学習することで内容が身に付きます。教育というのは、教えることと育てることです。育てるというのは自分でやれるようにする、ということが非常に大事なことです。夏休み中図書館に来て勉強してい

子どもたちは自分でやるのが身につくのではないかと考えています。家庭でのバックアップも大切ですが、立派な施設があるので、ぜひ利用してほしいと思います。図書館は知的サービスの最前線だと思います。

私の感想ですが、何年もここに通っていますが、今年は特に変わってきていると思います。

(3) 平成27年度事業報告及び平成28年度予算等について

別紙資料により説明（事務局）

質疑応答

意見

27年度のおはなしフェスタは、参加者は200名以上でした。今年は地震があったため、どれくらいできるか分かりませんが、今準備をしています。昨年とはとても多くてプログラムを200部以上作ったのですが余りませんでした。みなさんにご協力していただいているので、またよろしく願います。

意見

若いお母さん方が小さな子どもを連れて来られているのをよく見かけます。大事なことだと思います。大きくなってまた図書館に来るような子どもになるのではと思います。特に木曜日の「あかちゃんタイム」の時間は自由な雰囲気でお母さん方が多いです。

図書館の駐車場も少し台数が増えたので、ずいぶん良くなりました。まだ多いときは前に停めている車もありますが、以前より良くなったと思います。

意見

今年はロビーで勉強している人が多いです。以前より少し明るくなったようです。

意見

スポットライトを当てたり照明を変えたりして少し明るくなるようにしています。それでも若干明るさは足りないかと思っています。

意見

若い人だったら今の明るさでも大丈夫なのではと思います。集会室では話せないこともあり、孫も来たがりません。ただ、今年は集中

してやりたい人、話をしたり飲食をしたりリラックスして勉強したい人、と分かれてできるのがいいと思います。3カ所あります。静読室は、資格の勉強など本当に集中して勉強したい人、子どもはあまり来ません。集会室は大人も子どもも来ます。そしてリラックスして勉強できるロビーがあります。今年は場所の選択肢が増えて、中高生にとっても大変良いと思います。

意見

童話発表大会は何度か見に行かせていただいたことがあります。もっとPRして、関係者以外の方にもぜひ見に来てほしいと思います。

意見

小さいころ本になじんだ子どもたちは、図書館に来れば何かあるということで、生涯「今日は何しよう」と思うことはないのではと思います。最近、新刊を図書館が購入して貸し出すことで本が売れなくなるということが言われています。本が出版されなければどうにもなりませんので、図書館も話題の本を何冊も買ったりせずに、本屋さんと図書館と棲み分けをしながら、共存共栄していかなければならないのではと思います。

(4) その他

説明

・熊本市との広域連携について

昨年度2回目の協議会で話があったかと思いますが、現在は全く動いていない状態です。会議等もありません。

・雑誌スポンサー制度について

今まで1社のみ、3誌をお願いしていましたが、見直しをされるため一旦止められることになっています。一番読まれているものでも貸出人数が10人程度ということで、あまり効果が感じられないということです。雑誌を変えるなどしなければ広報としては難しいかと思います。また図書館に来て実際に雑誌を見て考えるとのことでした。

・大津町子ども読書活動推進計画について

現在第二次ですが、平成24年度から平成28年度までで今年が最終年度となります。来年平成29年度からの計画を今年策定することになります。まずは素案を作りまして、第二回の協議会でお示しできればと思います。

・サイン会について

8月6日に、小学館の「コロコロコミック」という雑誌で「パズドラクロス」という漫画を描かれている方が、サイン会におおづ図書館に来られます。場所はロビーを利用します。漫画ではありませんが、「被災地のどこかで」という話でしたので、受けさせていただきました。たくさん子どもたちに図書館に来てもらえたらと思います。まだポスターが届いていませんので、告知はできていませんが、そのようなイベントがあります。

・資料の写真撮影について

先日、資料の写真撮影をされた方がいらっしゃいました。カメラの使用をご遠慮いただくようお話をしたのですが、写真の撮影がだめだというはっきりとした規定がどこにもなかったため、この協議会で、館内での資料の撮影はできないということにさせていただければと思います。内規については、後日改正し、はっきりと明記したいと思います。まずは協議会でご承認いただいたということで、資料の写真撮影は禁止させていただきたいと思います。

質疑応答

意見

熊本市との連携については、前回の協議会でも、慎重に、という話が出ました。菊陽町と合志市は入っていません。菊陽町は熊本市と隣接しているため、連携することで熊本市からの利用者が押し寄せるのではと思っているのではと思います。

意見

写真について、携帯などでの撮影の問題が出てくると思います。コピーであればコピー代を払っていただきますが、写真であればどれだけでも撮れるということになって困ります。

意見

今の時代、考えられないようなことがありますね。

意見

図書館を動かすのは司書です。生き生きと仕事をしてもらえたらと思います。平日の職員と土日の職員で雰囲気も違います。正職員の司書にはそこをまとめて一緒にやっていっていただきたいと思います。また来た

い、と思うような図書館にしてもらえたらと思います。

(委員長)

今日は大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。貴重なご意見をいただきましたので、今後の図書館運営に館長を中心に活かしていただきたいと思っています。地域の方のご協力とご支援がなければ、死んだ図書館になります。地域の方の関心、ご協力が大切です。図書館は能動的に動いていかなければならないと思います。今後どうぞよろしく願います。